

どの子どもも輝く  
笑顔いっぱい  
とねがわ幼稚園

# とね幼だより

よい頭・よい躰・強い体



## 新米園長、何とか1ヶ月を乗り切りました！

園長 笛木 哲

冒頭から自分のことで申し訳ありません。右も左も分からぬまま飛び込んだ幼稚園教育です。「どの子どもも輝き、笑顔いっぱいな子を育てたい」という思いが、この1ヶ月の私の原動力でした。空回りしたことも多々ありますが、私にとって、充実した1ヶ月になりました。しかし、男の園長に戸惑い、年の割に元気な園長に振り回され、ずけずけ園児の領分に入り込む園長との接し方が分からない、そんな園児もいたことでしょう。時には保護者の皆様にご心配をおかけしたこともあったことと思います。頼りない園長ではありますが、園長職2ヶ月目、5月も、園児と共に成長してまいります。

5月は、親子遠足、イチゴ狩り、こぐまサークル運動会、とねっこタイム、引渡練習、ジャガイモ掘り、お弁当の日、歯磨き指導と多くの行事があります。園児と共に汗を流し、園児と共にたくさんの経験をし、素敵な思い出を作っていきます。

何か（心配ごと、苦情、子育ての悩み、うれしかったこと等）ありましたら、ぜひ園長室（目指せ！『保護者の入りやすい園長室』）へお越してください。園児にとってどうすることがよいことなのか、共に考え、一步一步前に進めていきたいと思ひます。

## 4月の保育の目標「園の生活、友達など環境に慣れる」から

園児にとって大きな環境変化になる4月は、時に、園児を不安で押しつぶします。「幼稚園に行きたくない！」と登園前に親を困らせる、「お母さんがいい！」と保育の途中で泣き出す、病気でないのに頭やお腹が痛くなる、といった姿で現れます。つまり、園児は必死に自分の心と戦っているのです。こんな時、保護者が「かわいそう」と登園させず、抱きかかえたままにする等の甘えを受け入れれば、園児は欲求を通すためには、駄々をこねればいいと学びます。親離れ、子離れのチャンスは、親子にとって辛いものです。

各ご家庭は、お子さんの思いを大切にしながら子育てできる環境ですが、幼稚園は集団で学ぶ場です。園児の思い通りにはいかないことがたくさんあります。時の流れは、決められた時刻で区切られます。自分の好きなことが優先されるのではなく、意図的に計画された学びで縛られます。気が合わない友達もそばに寄ってきます。でも、幼稚園だからこそ学べる初めての集団生活です。保護者の皆さんの心配は幼稚園にお伝えください。園児のがんばり（必死の闘い）を、そっと後押ししましょう。育ちのチャンスです。



## うれしいな。新しいお友だちができました。

ちゅうりっぷ組に <sup>いのうえ</sup>井上つばささん、<sup>いしじまか な</sup>石島佳奈さんが入園し、園児数208名となりました。

### 園児が輝く(個性的に学ぶ) その時

園児が笑顔で輝くための環境をつくるのが保育者の仕事です。学びの主人公は園児でなくてはなりません。園児は、これまでに経験したことから得た知恵を様々に組み合わせ、教師の働きかけや友達との情報交換の中で、新たな学びに向かいます。そんな園児の学びの姿を「園児が輝く(個性的に学ぶ) その時」として毎月お届けします。



#### 降園前の本の読み聞かせ

幼児は読み聞かせが大好き。さっきまで騒いでいたのに、じっと読み聞かせに聞き入ります。



#### 幼児は遊びの天才

大人なら決してもぐらないベンチの下も、幼児にとっては最高に居心地のよい場所に。「ここは、ぼくのおうち」



#### いやいや病 全身で抵抗

こうなったら辛抱強く寄り添い、共感しながらも、気持ちをそらし、皆と一緒にできた時、褒めて、認めます。



#### 世界にたった一人のヒーロー

幼児はどの子もヒーローの種をもっています。夢と現実が一緒の世界に生きています。私も、かつてそうでした。



#### 幼児は遊びの天才Ⅱ

担任が段ボールを丸めて電車を作りました。電車遊びに飽きると、ひっくり返してキャタピラに変身させました。



#### 寄り添うことが教師の役割

心細くなった時、横に一緒に座ってくれる大人は、自分だけの太陽です。肩に当てた手は信頼の証です。



#### 私が、僕が作った鯉のぼり

年長さんは、園の鯉のぼりに負けない立派な鯉のぼりを大空に泳がせました。大きな自慢が増えました。



#### 初めての給食おいしいよ！

年少さんにとって初めての給食は宝箱。「でもね、やっぱりママの作るご飯が世界一おいしいよ。」



#### 離任式 4/23

お世話になった小林園長先生。大好きだった杉本先生、山口先生。「ありがとう」「さようなら」「お元気で」